

～「2020 年度 あたらしい せいかつ」の取り組み～

全ての児童に学びやすい 教科書であるために



1 文字（フォント）に関する取り組み

- 児童の読みやすさに配慮し、大きな文字を使用しました。
- 全ての文字に、より多くの人に読みやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しました。
- 見やすく、分かりやすい紙面になるよう、掲載する各要素をできるだけ**同じ位置に固定**しました。

▼下巻 74 ページ

小単元名や本文など、大切なことは、大きな文字で表記しました。

本文・吹き出しなどには、正しい字形を保ちながら読みやすさに配慮された「UD デジタル教科書体」を使用しました。

UD デジタル教科書体とは？

- 学習指導要領に準拠した正しい形で、文字指導に配慮。
- 太さの強弱を抑えることで、ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障害）の児童にも配慮。

※（株）モリサワの書体を使用しています。



この資料は、2 年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

2 カラーユニバーサルデザインに関する取り組み

- カラーバリアフリーに取り組む色覚問題の専門家に、原稿の校閲を依頼し、全ページにわたって配色及びデザインの検証をしました。
- 特別な教育的支援を必要とする児童をはじめ、全ての児童が落ち着いて学習に向き合えるよう、強い色の使用を避け、紙面全体を淡い色調で統一しました。

3 レイアウトに関する取り組み

- 写真を並べて示す際には、明確な区切りを入れ、境界が分かるようにしました。
- 文章を文節で改行し、内容を読み取りやすくしました。

写真と写真の間には、
明確な区切りを入れました。

重要な部分の色を濃く、背景部の色を
薄く描写するなど、全ての児童に分
りやすくなるような工夫をしました。

ページを表すノンブルを
大きく示しました。

